職員有志でオブジェ制作！
～第２１回小樽雪あかりの路～

　平成３１年２月７日、８日の二日間、小樽開発建設部では有志２９名で「小樽雪あかりの路」のオブジェを制作しました。４０年ぶりの大寒波襲来による、氷点下１０度の極寒の中、みんなで力を合わせて作ったオブジェ。さて、今年はどんなものが出来上がったのでしょうか？

まずは、成形から。計測しながら羊蹄山らしい傾斜を作っていきます。じょうろで水を撒きながら、寒さを利用して固める作業も並行して。

次に、文字枠をくりぬきます。樽道佐々木課長お手製の段ボールによる文字枠で、だいたいの位置を決めたら・・・。

くりぬき作業。「やっぱりシャープさが大事だよね～。」という阿部次長の技術で、素晴らしくエッジの効いた文字枠が出来上がっていきます。

上部では、ゼロから雪の壁を作るという難しい作業が進行中。雪を持ってきて、貼り付けて・・・。築港課廣部補佐と、樽道藤岡事業専門官の息の合った作業が進みます。

阿部次長の差し入れてくれた、温かい飲み物を飲みながらみんなで進行状況を確認。かなりいい感じで進んでいます！

雪だるまを置く雪の壁。樽道谷口技官が段ボールを当てて、加藤次長が足でバンバンと固めると・・・キレイな断面が。名付けて段ボール施工！！

→

→

→

さてここで、佐々木課長によるスノーキャンドルの作り方講座。バケツと芯を用意して、その間に雪と水を交互に詰めながら固め、バケツをひっくり返して芯を抜くと、完成！制作時間は５分です。

１日目終了時の状況。文字枠と、雪だるまを置く台が出来上がりました！１日目参加の皆様、お疲れさまでした！！

２日目。氷点下１０度という極寒の中で始まりました。まずは、橋本部長が昨夜のうちに積もった雪を払っていきます。

女子チームでは雪だるま作りが進行中。大小のお椀２つに雪を入れて、合わせてパカッと開けば、キレイな雪だるまが完成！のはずなのですが・・・

雪がくっついてなかなか外れない！凍える寒さ中、素手で温める作業が必要になりました。

できた！キレイな玉が。
汗と涙の結晶です。
ツルツルして可愛い～。

そこに、なぜかドリルが登場。雪だるまに目鼻だちをつけるのに、穴を空ける必要があるのですね。「この大きさでいいかな？」「そうですね、そのくらいがベストです。」

文字枠に、ワックスで作った文字プレートをはめていきます。この字は、佐々木課長の書によるもの。なんて書かれているのかは、もうおわかりですよね。

作業は着々と進み、最後は橋本部長による点灯式。
オブジェ作りもいよいよクライマックスです。

羊蹄山を模した形なので、てっぺんには「Ｍｔ．羊蹄」の文字を。阿部次長と倶知安開発の東係長の部門を超えた連携プレーで、見事最後のあかりが灯りました！！

そして・・・オブジェ完成！

**　すべてのロウソクが灯った瞬間の感動！！作った人にしかわかりません。事務・技術の区別なく、部門も超えてみんなが協力して作り上げるオブジェ。愛おしさもひとしおです。特に今年は、ほっぺが痛くなるほど強烈な寒さの中での作業。ボランティア参加の皆様、本当にありがとうございました。**

**　「小樽雪あかりの路」は１７日（日）まで開催中。ぜひ皆さん、有志２９名の努力の結晶を観に、足を運んでみてください！**

オブジェ制作ボランティアに参加してくれたみなさま
橋本部長、加藤次長、阿部次長【総務課】野﨑補佐、田沼専門官、千葉専門官、道端主任【施設整備課】熊谷主任、浅野技官【築港課】廣部補佐【広報官】田中広報官【倶知安開発事務所】生出所長、小尾課長、荒川道路防災専門官、東係長【小樽道路事務所】本田所長、増川副所長、佐々木課長、東原事業専門官、藤岡事業専門官、谷口技官、中村技官、鳥越技官【小樽港湾事務所】阿部上席【地域振興対策室】佐藤室長、髙木上席、渡辺専門官、大丸専門官、石本主任

おまけ　ひょっこりはんプレート
幹部の皆さんのプライベートを勝手に想像してみました。似てるかな？オブジェのどこかにあるので、見つけてみてください。